

教科(科目)	保健	単位数	1	学年	2(男・女)
使用教科書	現代高等保健体育(大修館) 保健編				
副教材	現代高等保健体育ノート(大修館)				

1 学習目標

個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ・生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。
- ・社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。

3 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動	時間	評価方法
4	生涯を通じる健康	[1]思春期と健康 [2]性意識と性行動の選択 [3]結婚生活と健康 [4]妊娠・出産と健康	自らの身体や心の成長や変化に気付くとともに、異性や他者との違いを理解し、家族や人生について深く考える。	2	・下記の「5 評価基準」による
5		[5]家族計画と人口妊娠中絶 [6]加齢と健康 [7]高齢者の為の社会的取り組み [8]保健制度とその活用		4	
6				3	
7				3	
8・9	社会生活と健康	[9]医療制度とその活用 [10]医薬品と健康 [11]さまざまな保健活動や対策	医療制度や医薬品、保健活動を知ることにより良い人生を考える。	4	
10		[1]大気汚染と健康 [2]水質汚濁・土壌汚染と健康 [3]健康被害の防止と環境対策 [4]環境衛生活動の仕組みと働き	環境破壊や自然保護を、自らや未来の子どもたちの健康と関連させ、深く考える。	3	
11		[5]食品衛生活動の仕組みと働き [6]食品と環境の保護と私たち		4	
12			3		
1		[7]働くことと私たち [8]労働災害と健康 [9]健康的な職業生活	労働と健康を関連付けて深く考える。	3	
2・3			3		

合計時数×1.1/単位数= 35 計 32 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

学習ノート、プリント等

5 評価規準

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
<p>生涯の各段階における健康の課題に応じた自己の健康管理の必要性、および保健・医療機関の活用について関心をもち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。</p> <p>環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について関心をもち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。</p>	<p>生涯の各段階における健康の課題や、自己管理の重要性、保健・医療機関の活用について、自分の学習や経験を元にしたたり、資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断できる。</p> <p>環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について、自分の学習や経験を元にしたたり、資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断できる。</p>	<p>生涯の各段階における健康課題や、保健・医療機関の活用について理解し、課題解決に役立つ知識を身につけている。</p> <p>学校や地域、労働の環境を健康に適したものにすること、食品の安全性を確保する必要があることを理解し、課題解決に役立つ知識を身につけている。</p>
<p>以上の観点から、定期考査、授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、課題・提出物などを総合的に評価します。</p>		

6 担当者からの一言

保健は、自らの心やからだのことを学ぶ貴重な時間です。これからの人生を健康で豊かにしていくうえでとても大事な教科なので、自らの心とからだに関する知識を深めていきましょう。